

## 繁殖台帳Webシステムに新機能！ — 検定情報サマリーと交配種雄牛情報 —

電子計算センター 電算課長 相原光夫

平成22年にリリース以来、検定農家の方々に大変好評を頂いている繁殖台帳Webシステムは、牛群検定情報をインターネットを通じて自宅のパソコンで利用することが出来るツールです。この9月から、これまでシステム化が希望の多かった、◇検定牛の検定情報サマリーと◇交配種雄牛情報をそれぞれ検定牛ごとにボタンひとつで検索出来る機能を追加しました。以前にも増して高機能となった繁殖台帳Webシステムを紹介します。

### 新機能の紹介をする前に

#### ●繁殖台帳Webシステムとは

繁殖台帳Webシステムとは、牛群検定情報をインターネットを通じて自宅のパソコンで利用することができるツールです。様々なグラフや表で牛群検定情報を検討することが出来ます。もちろん、牛群検定を実施している農家であれば誰でも無料で利用することができます。

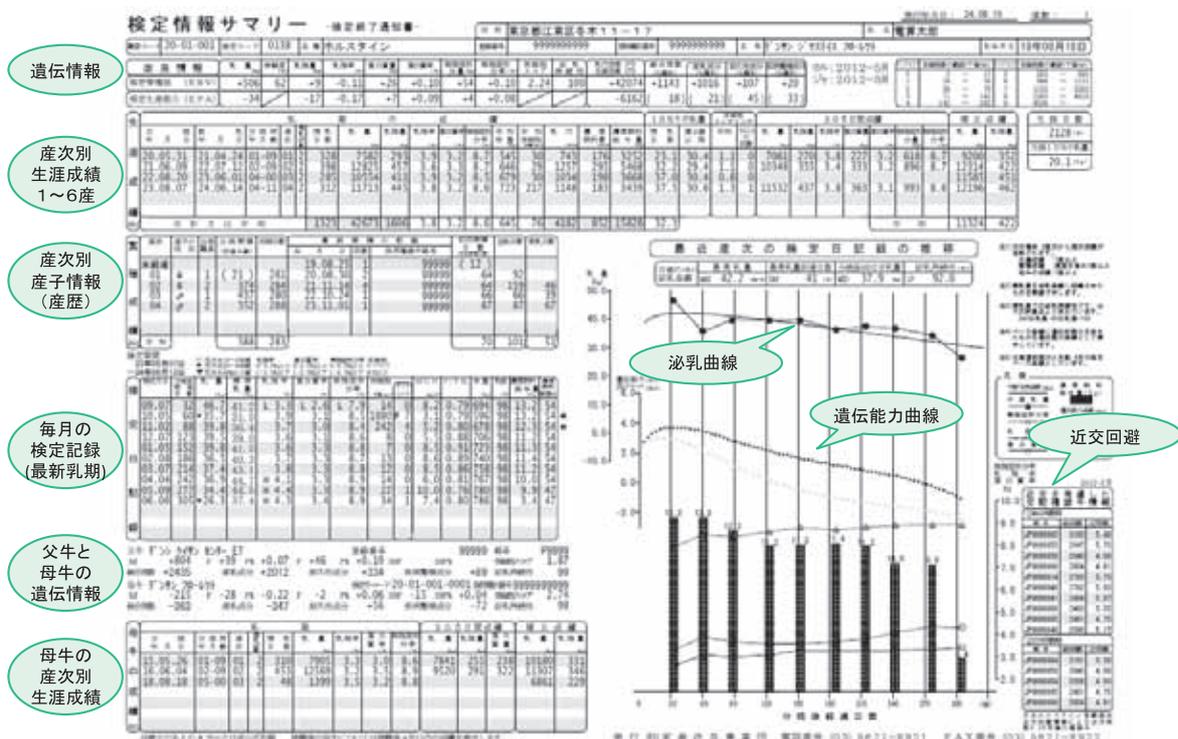
詳細は本誌No.127（平成23年3月25日号）で紹介しましたので、当団ホームページをご覧ください。

#### ●検定情報サマリー（検定終了通知書）とは

検定情報サマリー（図1）は、各産次の乳期が終了する都度、検定牛ごとに発行される帳票で、毎月の検定記録や生涯成績、泌乳曲線、遺伝情報、両親の成績など詳細にわたる情報を提供するものです。その活用方法も多岐にわたります。

- ① 遺伝情報や血統などから交配種雄牛を選定する材料
- ② 過去の産歴や体細胞数の確認
- ③ 遺伝能力曲線などの遺伝情報の確認
- ④ 淘汰牛を選定する際の成績確認

図1



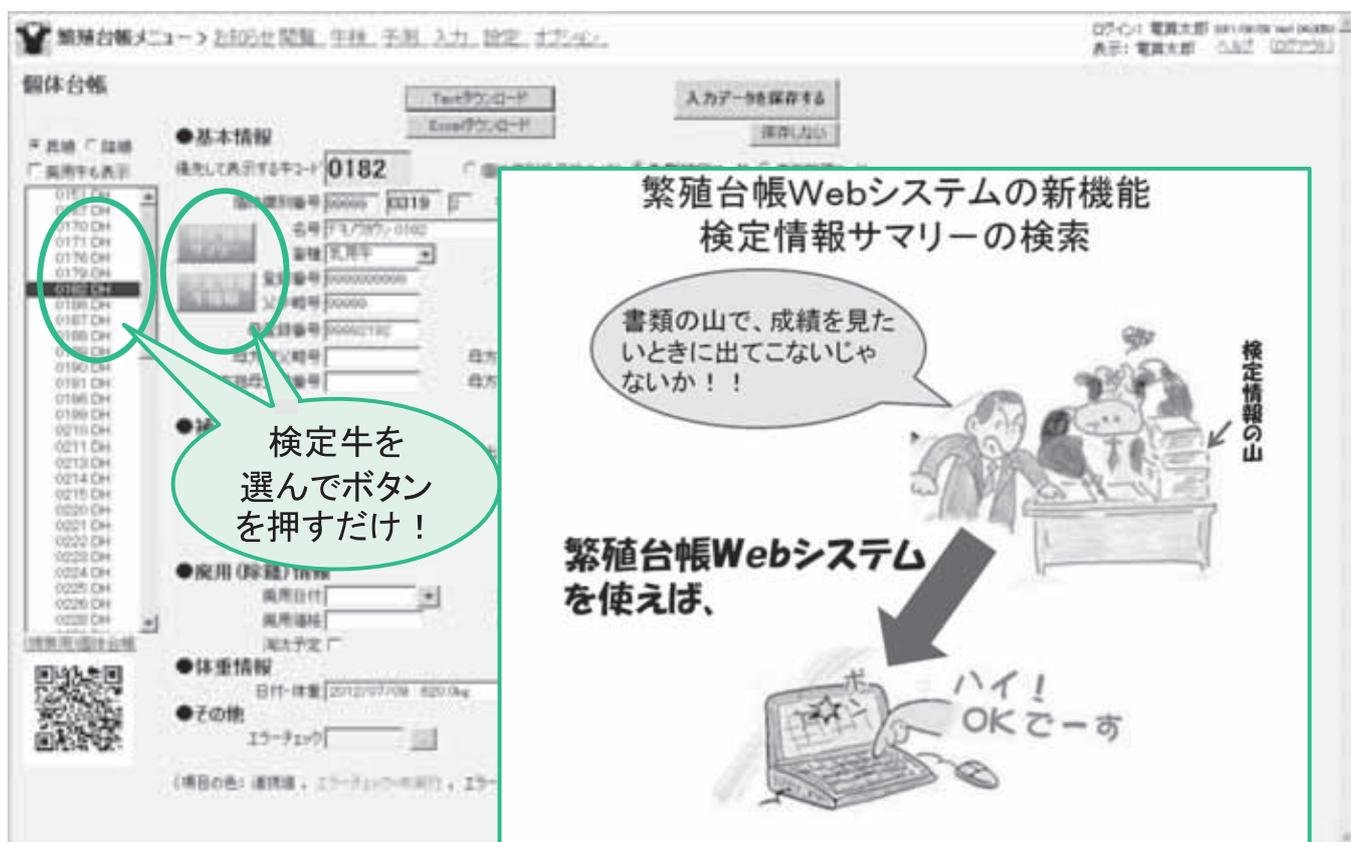
## 新機能その1 検定情報サマリーを一発呼び出し！

前述のように、詳細な検定成績が凝縮した検定情報サマリーですが、1頭1乳期に1枚が発行されるので頭数が多い農家では、大変な枚数の帳票になってしまい、整理しておくのがとても大変でした。また、検定成績を詳しく見たいときに見つからないというジレンマもあったかもしれません。今回の繁殖台帳Webシステ

ムでは、図2のとおり自宅のパソコンで、検定牛コードを選んで該当ボタンをひとつ押すだけで当該牛の検定情報サマリーを呼び出すことを可能としました。

呼び出しが可能なのは、現在、活躍している検定牛と除籍後1年以内の牛です。また、表示される情報は、例えば現在3産を搾ってれば、初産と2産の検定情報となります。その時点で未経産牛や初産を搾乳中の牛は呼び出しの対象となりません。

図2



(注) 北海道においては検定終了通知書を含め検定成績を検定組合で管理するシステムのため、本機能は使用できません。

## 新機能 2 交配種牛情報もボタンひとつで！

### ●交配種雄牛情報とは

交配種雄牛を選定するための雌牛サイドの情報は、前述の検定情報サマリーを活用することで得ることができます。しかし、交配種雄牛を選定するにはこれだけでは不十分で、種雄牛の遺伝情報が必要です。繁殖台帳Webシステムの繁殖疾病台帳または個体台帳の画面（図2）で交配種雄牛情報のボタンを押せば、図3

のような情報が表示されます。表示される情報は、最新の総合指数（NTP）TOP40に相当する国内種雄牛の遺伝情報と、各検定牛に対する近交係数です。近交係数は、日本ホルスタイン登録協会が血統登録された検定牛1頭ごとに計算したものです。遺伝的な改良は、TOP40の種雄牛から近交を考慮して人工授精することで、もっとも効率良く進めることができます。繁殖台帳Webシステムでは、図3の交配種雄牛情報を近交係数順でも、乳量順でも、体格得点順でも自由に並べ替えることができますので、種雄牛を選択する際のア

